

県立鹿児島工業高等学校同窓会会報

ろっこう No.12

2022/OCT



1号棟と2号棟



誠 創 精 校
実 造 進 訓



体育館



I 類実習棟とII 類実習棟

一、紫にはふ 桜島

その美はしき気高さに
吾等の意気をたぐへてむ

清き流れの甲突の

夜昼舎かぬいそしみに

わが精進の則を見む

二、伊敷の原に聳え立つ

大煙突のいただきよ

空をおほうて立つ煙

工場におこる朝夕の

天地どよもす響きこそ

わが鹿工の行進歌

三、名君島津斉彬公

新工業を開かれし

集成館も程近し

自然に歴史に恵まれし

幸を思うていざ進め

鹿児島工業学生われら

同窓会会長ごあいさつ



永里 和吉

【生年月日】S26.8.4 70 歳
 【学歴・職歴】
 S45 鹿児島工業高等学校工業化学科卒
 S50 日本大学建築学科 卒
 国鉄、海上保安庁 県教委(教員、教頭、校長)
 【趣味】ゴルフ、スポーツ観戦

3 年ぶりの総会懇親会

同窓生の皆様、ご健勝のことと存じます。

今年の鹿児島の梅雨明けは、観測史上 2 番目の早さで期間は 16 日間となり観測史上最短だったと日本気象協会が発表しました。これも世界温暖化の異常気象によるものかと思ひながら、電力不足、水不足と合わせ、極暑の長い夏をどう乗り切ろうかと体力不足を考え、それに加え第 7 派の新型コロナは爆発的感染再拡大中であり、収束の兆しが見えず不安と混迷の毎日をお過ごしの方が多いのではないかと推察いたしています。

そのような中でしたが、7 月 2 日(土)、3 年ぶりに総会懇親会を開催することができました。「とにかく今年はやろう！」を合言葉に役員及び実行委員の方々の熱い心がひとつになれた結果だと思います。また前述の第 7 派の到来前であり、かつ鹿児島県も会席制限を緩和した直後でウィズコロナがある程度自覚されだしたのも一因でした。城山ホテル鹿児島の協力により感染拡大防止対策を講じた(300 人以下の人数制限の制約はありました)うえで、懐かしい恩師や現職の先生方も多数参加され、

盛大に開催し 3 年ぶりの交流ができたことをご報告申し上げます。

また 6 月には県外各支部総会も 3 年ぶりに開催され、九州支部、関東支部、中部支部の総会に学校長とともに出席いたしました。その中で中国支部の岡尾正義(昭和 16 年建築卒業)さんにお会いすることができました。今年で 100 歳になられ明晰な言質で近況をスピーチされました。(大煙突が建てられ 102 年立ちますので、ほぼ同時期にお生まれになったすごい人です。)長生きの秘訣は、「笑い」と「笑顔」に尽きるといわれ、この二つがあれば人が寄ってきてコミュニティができ若返るとのことでした。見習いたいです。

またもう一つ年配者の活躍で、先日、日経新聞に連載されている「私の履歴書」の中で、現在住友林業最高顧問の 82 歳の矢野龍さんが、古人の名言をもじって「50、60 は鼻たれ小僧、70 は青春、80、90 は男盛り」と書いておられました。まだまだ青春・男盛りを堪能したい。

同窓会の大きな柱は「会員相互の親睦を厚くする」と「母校の発展に寄与する」です。この 2・3 年コロナ禍の影響で満足な活動ができていませんが、この会報誌を通じて皆様との架け橋ができれば幸いです。

結びに、一日も早いコロナ禍の鎮静化と平常の社会機能が回復することを願いつつ、鹿児島工業高校の益々の発展と皆様方のご健勝を心からお祈りいたします。

学校長ごあいさつ



大保 智

【生年月日】S38.3 59 歳
 【経歴・職歴】
 S60.3 福岡工業大学電子機械工学科卒
 S60.4 鹿児島県教員へ採用
 H 8.4 鹿児島工業高校勤務(教員 8 年間)
 H26.4 鹿児島工業高校勤務(教頭 2 年間)
 R 3.4 鹿児島工業高校勤務(校長 2 年目)
 (県教委: H23 ~ 25 年度、H28 ~ 29 年度)

母校の歴史、時代毎の熱き工業教育

今年 3 月に電子機械系、電気技術系の実習室が入る新実習棟が完成しました。平成 21 年からの体育館の建て替え工事を皮切りに、新実習棟が完成したことにより建物建設工事をすべて終えたことになります。そして、竣工から 56 年目を迎える電子機械系、電気技術系の旧実習棟は今年度中に解体されます。

一方、大正 9 年(1920 年)に建造された赤レンガ造りの「大煙突」は同窓会のお力添えにより、耐震補強工事が施され 102 年の永きに渡り、卒業生の絆のシンボルとなり、誇り高く伊敷の原にそびえ立って、今も生徒らを見守り続けています。

創立 114 周年を迎える母校の九州、関東、中部地区の各支部総会が 6 月、同窓会総会及び懇親会が 7 月に 3 年ぶりに開催されました。各会場で皆さまから母校への思

いをお聞ききし大変嬉しく思うとともに部活動へのご厚情として助成をいただきましたことに感謝申し上げます。

さて、「薩藩工業史」と言う本をご存じでしょうか。昭和 11 年 3 月に鹿児島県立鹿児島工業学校が独自に編集し発行した本で現在、県立図書館に 3 冊配架されています。貴重本のため郷土コーナーにおいて 1 冊のみ閲覧できますがこの本については著者や経緯など不明な点も多く、情報提供をお願いしているところです。本の諸元には「ここに薩藩工業史という標題を以て研究の題目としているが、著者はむしろ薩藩と称した時代から鹿児島県と称する現在に至るまでの工業を論じたいのである。」と書かれてあります。時代の背景から工業人の育成を念頭に置いた一文として、工業教育に対する思いの強さを感じます。母校の歴史には時代毎の熱き工業教育が流れ、今もその校風が息づいていると思いました。伝統ある本校がこれまでの伝統・校風を引き継ぎ、新たな歴史を刻み進化し続ける学校となるよう心から願わずにはいられません。

最後になりましたが、皆様のご健勝をお祈りするとともに引き続き母校へのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

I 類実習棟を今年 4 月から供用

I 類実習棟(電子機械・電気技術・工業化学・情報技術)の改築工事は令和 4 年 2 月に竣工しました。建物は RC 造 3 階建 3,880 m²の規模で、3 月中に工作機械や試験機の据付を終え、4 月から供用されています。今後、古い電子機械実習棟等 3 棟を 9 月以降に解体し、グラウンドを拡張します。これらの工事が終わると、平成 18 年度からの一連の校舎耐震化工事が完了します。



平成 18 ～ 19 年度	屋内運動場 RC 4 階建
平成 23 ～ 28 年度	1 号棟、2 号棟、中央館 RC 6 階建
平成 29 ～ 30 年度	大煙突耐震工事 高さ 18m レンガ造
平成 31 ～ 令和 3 年	II 類実習棟 I 類実習棟 RC 4 階建、RC 3 階建

(注) RC 造：鉄筋コンクリート造

同窓会入会式を 2 月末開催

同窓会本部は令和 4 年同窓会入会式を 2 月 28 日 本校体育館で開催し、永里会長ら本部役職員、3 年生 353 名と担任教師などが参加しました。会長からは「関東地方をはじめ県外に 5 支部と県内にも地方支部や職域支部があり、困りごとがあったら同窓会に相談してください。社会においても、人との付き合いを大事にして、心の貯金をしてください」と新入会員へ激励の挨拶がありました。次に入会記念品の贈呈に進み、代表して丸山健生さん(電気技術系)へ「ビジネスマナーの本」をお渡ししました。続いて、新入会員を代表して樋渡和樹さん(電気技術系)が「伝統ある鹿工卒業生として誇りを胸に努力してまいります。ご指導をよろしくお願いします」と決意を表明しました。



鹿児島四高OB交流ゴルフ大会 南国カントリークラブで開催

令和 3 年 10 月 19 日 鹿児島市吉野町の南国カントリークラブで、鹿児島四高交流ゴルフ大会が開催されました。鹿工同窓会会員 53 人、鹿商 OB 59 人、玉龍 OB 29 人、甲南 OB 13 人の合計 154 人が参加しました。晴天の下、同伴競技者ともプレーや会話で楽しく時間を過ごしました。鹿工同窓会の最上位入賞者は岩元友平さん(H13 建築科卒)がネット 71.2 で 4 位入賞、有村勲さん(S39 電気科卒)がスコア 71 でベストグロス賞でした。なお、表彰式を兼ねた懇親会については、コロナ感染状況を勘案し 2 年続いて開催中止となり、賞品は郵送されました。



同窓会総会懇親会に県内外から 235 人が参加



同窓会本部は鹿児島県の「まん延防止等重点措置」の解除宣言を受けて、7月2日城山ホテル鹿児島で総会の懇親会を3年ぶりに開催しました。総会については同ホテルの会議室で開催し、県外支部の役員の方々も3年ぶりに参加されました。本部担当役員が昨年度の活動報告や予算・決算並びに名誉会員認定と名誉会員規定(待遇の変更)の3議案の説明を行った後、賛成多数で承認されました。懇親会では、永里会長は「懇親会は2年間見合わせたが、今回開催できたので楽しんでください」と開催挨拶し、大保校長は「学校行事も中止や制限をしたが、学校教育活動を止めないよう努めた。同窓会会員の皆様には学校への温かいご支援ご協力に感謝します」と挨拶さ



れました。そのあと来賓紹介、東鶴実行委員長が広告などへの協力に対するお礼が続き、関西支部の大重支部長が乾杯の音頭を取って宴会が始まりました。懇親会運営にあたっては密集対策として入場券を前売りのみで販売することを決め、密接対策として円形テーブル1台あたり6人を配席した上にアクリル板を設置することにしました。また、吹奏楽部のウエルカム演奏やクラブ活動紹介はスクリーンに動画で放映しました。総会に先立つ亡師・亡友の慰霊祭については、午後2時頃から鹿児島市の護国神社で開催し、同窓会会長や支部役員、学校長などが榊を捧げました。



同窓会名誉会員規程の変更箇所(令和4年度同窓会総会で決議)

変更の目的は、総会懇親会の収支改善を図るため、待遇内容を変更する。

第4条(3) 総会に招待し、会費は初年度免除する(下線の3文字を追加する)

～同窓会総会懇親会を終えて(実行委員より)～

7月2日に令和4年鹿児島工業同窓会総会懇親会を無事開催することが出来ました。これもひとえに、同窓会役員、同窓生、現職職員の皆様のお力添えのおかげと感謝しております。3年ぶりの開催、そしてコロナ禍での準備に苦労しましたが、実行委員メンバーで知恵を出しながら作り上げていく過程がとても有意義な時間となりました。学生時代お話ししたこともなかった同級生でしたが、いつの

間にか一つの目標を達成しようとする仲間になることが出来ました。時間を割くことも多かったですが、それ以上に得るものがあり、この機会をいただけたことに大変感謝しております。この経験をこれからの人生に生かしていきたいと思います。本当にありがとうございました。

(実行委員長 東鶴 真児 平成12年電子工業系卒)

一般会計、総会会計、教育振興会計の報告

一般会計 R3 決算

収入の部 (単位 円)				
科 目	予算額(A)	決算額(B)	増減(B)-(A)	備 考
前年度繰越金	2,976,714	2,976,714	0	
入 会 金 会 費	2,120,000	2,139,600	19,600	生徒 200 円 ×1,060 名 ×10 ヶ月
同窓会運営協力金	0	300,000	300,000	総会会計より
寄 付 金	0	3,000	3,000	池田五男様
雑 収 入	0	261,530	261,530	名簿売上、HP 協賛広告、会報誌協力金
利 息	286	34	△ 252	
合 計	5,097,000	5,680,878	583,878	

支出の部 (単位 円)				
科 目	予算額(A)	決算額(B)	増減(B)-(A)	備 考
定 例 会 費	150,000	60,624	△ 89,376	定例役員会
幹 事 会 費	0	0	0	総会資料発送 (総会会計にて計上)
需 用 費	60,000	2,973	△ 57,027	事務室電気使用料、事務用品
通 信 費	590,000	315,701	△ 274,299	電話料金、OCN、郵送料、HP 保守料、コピー機代
支部総会祝金	55,000	0	△ 55,000	
支部交流費同窓会	150,000	0	△ 150,000	
支部交流費学校	60,000	0	△ 60,000	
支 部 活 動 費	380,000	372,080	△ 7,920	(一律)県外 5 万円、県内 2 万円、振込手数料
慶 弔 費	150,000	104,694	△ 45,306	慰霊塔献花年間契約金、弔電供花
総 会 費	0	0	0	総会費補助 (新型コロナウイルスにより懇親会中止)
事 務 費	550,000	512,516	△ 37,484	事務局員賃金
雑 費	50,000	96,650	46,650	南日本新聞年間広告掲載代、名誉会員パッチ購入
予 備 費	2,902,000	0	△ 2,902,000	
合 計	5,097,000	1,465,238	△ 3,631,762	
収 入	5,680,878	支 出	1,465,238	残高/次年度繰越金 4,215,640

総会会計 R3 決算

収入の部 (単位 円)				
科 目	予算額	決算額	増減(決算)-(予算)	備 考
前年度繰越金	1,763,525	1,763,525	0	
会 費	0	0	0	懇親会中止 (新型コロナウイルスの為)
広 告 費	3,000,000	4,085,000	1,085,000	
南日本新聞	3,000,000	4,085,000	1,085,000	
同窓会新聞	0	0	0	
雑 収 入	0	74,670	74,670	寄付:東栄設計、瀧田正子、ジャニス洋菓子店、中佛、岩下
本 部 補 助	0	0	0	
利 息	475	16	△ 459	預金利息
合 計	4,764,000	5,923,211	1,159,211	

支出の部 (単位 円)				
科 目	予算額	決算額	増減(決算)-(予算)	備 考
会 議 費	310,000	156,376	△ 153,624	交通費、謝金、弁当代等
通 信 費	165,000	82,446	△ 82,554	郵送費(広告依頼、総会資料送付、モバイルFAX等)
印 刷 費	5,000	2,052	△ 2,948	コピー用紙等
交 通 費	0	0	0	懇親会中止 (新型コロナウイルスの為)
広 告 費	2,130,000	2,139,500	9,500	
南日本新聞	2,130,000	2,139,500	9,500	南日本新聞、版下代
同窓会新聞	0	0	0	作成無し (新型コロナウイルスの為)
看 板	0	0	0	作成無し (新型コロナウイルスの為)
総 会 費	130,000	119,000	△ 11,000	厄払い、慰霊祭、引継ぎ式等
賞 品 費	0	0	0	R2 年度執行
イ ベ ン ト 費	300,000	170,269	△ 129,731	
当番幹事記念品費	200,000	199,835	△ 165	学校へ扇風機を寄贈
同窓会運営協力金	300,000	300,000	0	同窓会一般会計へ
部活動補助費	300,000	300,000	0	学校へ
手 数 料	5,000	2,293	△ 2,707	銀行振込手数料
予 備 費	919,000	0	△ 919,000	
合 計	4,764,000	3,471,771	△ 1,292,229	
収 入	5,923,211	支 出	3,471,771	残高/次年度繰越金 2,451,440

教育振興会 R3 決算

収入の部 (単位 円)				
科 目	予算額	決算額	増減(決算)-(予算)	備 考
前 期 繰 越 額	34,591,712	34,591,712	0	
会 報 協 力 金	0	0	0	
寄 付 金	0	0	0	
雑 収 入	288	288	0	
合 計	34,592,000	34,592,000	0	

支出の部 (単位 円)				
科 目	予算額	決算額	増減(決算)-(予算)	備 考
助 成 金	500,000	457,250	△ 42,750	同窓会入会記念品代、大運動会補助他
通 信 費	10,000	0	△ 10,000	
部活動奨励費	650,000	289,000	△ 361,000	
賞 金	550,000	511,197	△ 38,803	
周年事業積立金	200,000	200,000	0	
記念事業実行費	1,322,336	33,000	△ 1,289,336	110 周年芳名録作成費
予 備 費	31,359,664	495,000	△ 30,864,664	会報誌制作補助費
合 計	34,592,000	1,985,447	△ 32,606,553	
収 入	34,592,000	支 出	1,985,447	残高/次年度繰越金 32,606,553

一般会計 R4 予算

収入の部 (単位 円)				
科 目	R4 年度(A)	R3 年度(B)	増減(R4年度-R3年度)	参考(R1年度)
前年度繰越金	4,215,640	2,976,714	1,238,926	2,329,228
入 会 金 会 費	2,120,000	2,120,000	0	2,120,000
同窓会運営協力金	500,000	0	500,000	500,000
寄 付 金	0	0	0	0
雑 収 入	0	0	0	0
利 息	360	286	74	72
合 計	6,836,000	5,097,000	1,739,000	4,949,300

支出の部 (単位 円)				
科 目	R4 年度(A)	R3 年度(B)	増減(R4年度-R3年度)	参考(R1年度)
定 例 会 議 費	150,000	150,000	0	150,000
幹 事 会 議 費	0	0	0	150,000
需 用 費	60,000	60,000	0	60,000
通 信 費	590,000	590,000	0	300,000
支部総会祝金	250,000	55,000	195,000	150,000
支部交流費同窓会	650,000	150,000	500,000	470,000
支部交流費学校	480,000	60,000	420,000	330,000
支 部 活 動 費	760,000	380,000	380,000	400,000
部活動補助費	0	0	0	150,000
慶 弔 費	150,000	150,000	0	150,000
総 会 費	200,000	0	200,000	200,000
事 務 費	550,000	550,000	0	550,000
雑 費	100,000	50,000	50,000	50,000
予 備 費	2,896,000	2,902,000	△ 6,000	1,839,300
合 計	6,836,000	5,097,000	1,739,000	4,949,300

※R4 年度はコロナ前の R1 年度を参考にして計上した。

総会会計 R4 予算

収入の部 (単位 円)				
科 目	R4 年度	R3 年度	増減(R4年度-R3年度)	参考(R1年度)
前年度繰越金	2,451,440	1,763,525	687,915	1,771,325
会 費	1,710,000	0	1,710,000	2,250,000
広 告 費	5,600,000	3,000,000	2,600,000	6,250,000
南日本新聞	3,600,000	3,000,000	600,000	3,750,000
同窓会新聞	2,000,000	0	2,000,000	2,500,000
雑 収 入	0	0	0	50,000
本 部 補 助	200,000	0	200,000	200,000
利 息	560	475	85	75
合 計	9,962,000	4,764,000	5,198,000	10,521,400

支出の部 (単位 円)				
科 目	R4 年度	R3 年度	増減(R4年度-R3年度)	参考(R1年度)
会 議 費	635,000	310,000	325,000	400,000
通 信 費	370,000	165,000	205,000	120,000
印 刷 費	80,000	5,000	75,000	150,000
交 通 費	400,000	0	400,000	400,000
広 告 費	2,500,000	2,130,000	370,000	2,600,000
南日本新聞	2,150,000	2,130,000	20,000	2,100,000
同窓会新聞	350,000	0	350,000	400,000
看 板	0	0	0	100,000
総 会 費	2,800,000	130,000	2,670,000	3,600,000
賞 品 費	200,000	0	200,000	300,000
イ ベ ン ト 費	60,000	300,000	△ 240,000	100,000
当番幹事記念品費	200,000	200,000	0	200,000
同窓会運営協力金	500,000	300,000	200,000	500,000
部活動補助費	300,000	300,000	0	300,000
手 数 料	10,000	5,000	5,000	50,000
予 備 費	1,907,000	919,000	988,000	1,801,400
合 計	9,962,000	4,764,000	5,198,000	10,521,400

※R4 年度はコロナ前の R1 年度を参考にして計上した。

教育振興会 R4 予算

収入の部 (単位 円)				
科 目	R4 年度	R3 年度	増減(R4年度-R3年度)	参考(R1年度)
前 期 繰 越 額	32,606,553	34,591,712	△ 1,985,159	15,681,653
会 報 協 力 金	0	0	0	60,000
寄 付 金	0	0	0	0
雑 収 入	447	288	159	47
合 計	32,607,000	34,592,000	△ 1,985,000	15,741,700

支出の部 (単位 円)				
科 目	R3 年度(A)	R2 年度(B)	増減(R4年度-R3年度)	参考(R1年度)
助 成 金	500,000	500,000	0	600,000
需 用 費	0	0	0	10,000
通 信 費	10,000	10,000	0	10,000
部活動奨励費	700,000	650,000	50,000	500,000
賞 金	600,000	550,000	50,000	550,000
周年事業積立金	200,000	200,000	0	200,000
記念事業実行費	1,289,336	1,322,336	△ 33,000	0
会報誌製作費	500,000	0	500,000	0
予 備 費	28,807,664	31,359,664	△ 2,552,000	13,871,700
合 計	32,607,000	34,592,000	△ 1,985,000	15,741,700

関東支部だより



2020年2月に横浜港に停泊中のダイヤモンドプリンセス号に於いて、わが国初のコロナ感染症の発生が発見され瞬く間に感染爆発が起これ、緊急事態宣言が発出され今まで経験した事のないパンデミックに見舞われ今に至っています。

この様な状況の中で関東支部では、通常の幹事会の開催もままならず支部長以下主要メンバーによる少人数で最小限の幹事会を開催し、支部総会開催の是非や会員への配布書類などを協議し、他の幹事にはその結果をメールで発信し賛否を判断いただくとする方法で

この2年間支部活動を運営して来ました。そして会員の皆様については、2年続けての支部総会・懇親会の中止のお知らせと、開催時にご協議頂く資料を共に郵送し、ご意見については問合わせアドレスを明記しメールで返信を頂く方法で総会と替えさせて頂きました。

その中で、昨年の秋以降、2度のワクチン接種が65歳以上の高齢者を中心に浸透した事により感染者が減少した事で、令和3年12月に約2年振りに大人数での今までの通りの幹事会を開催し令和4年度の関東支部総会・懇親会の開催を決定しました。

しかし、オミクロン株が入国者の中から発見され年末の帰省や旅行による人流の増加により瞬く間に全国に拡大し第6波として今まで以上の爆発的な感染者の増加により蔓延防止策が発令され、再び幹事会が開催出来ない状況と成りました。

3回目のワクチン接種が進む中、徐々に新規感染者の発生が減少が見られる中で3月26日に11名

の幹事の出席で最終的に令和4年度の関東支部の総会・懇親会を条件を付けたうえで、開催する決断を致しました。

明るいニュースとしては、令和2年12月バスケットボール部が東京での全国大会に出場令和3

関西支部だより



年12月には弓道部が水戸での全国大会に出場活躍を見せてくれました。今年も多くの各種部活の皆様が県代表として上京され、お会いできる事を楽しみにしています。

関東支部長 元吉勝広
(S49年工芸科卒)

この5年間の関西支部活動の概略を紹介いたします。令和2年1月より新型コロナウイルス感染症が全国的に広がり多くの方に甚大な影響を与えています。増加と減少を繰り返し、現在第7波に向けてワクチン予防接種が進められています。この様なコロナ禍の中で関西支部の最も大きな行事である総会・懇親会は令和2年3年と続けて文書決議による総会のみを行いました。文書決議に至るには、安全・安心な総会開催に向けて何回も役員会を持ち意見を集約しましたが、一堂に会員が集まることの総会開催は中止の結論に至りました。支部活動の中で新しく二つの事を進めています。一つは令和3年より支部

総会の開催日時の変更を文書決議に提案し了承されました。提案理由として従来は6月末〜7月初めの開催でしたが、他支部・他校同窓会と重なっていること、そして当年母校卒業生の関西進路者への連絡先把握は5・6月になり総会案内が出来ない事などから11月の第3土曜日に変更しました。二つは支部会則の見

直しを進めているところです。県関係の各種団体とのつながりも多くあり鹿児島県高校同窓会関西連合会もそのひとつです。遠く郷里を離れ関西地域で同窓会活動をしている20数校が加盟しています。会員相互の親睦を図り研修会等を行っています。令和2年の研修会では遣唐使進発の地である堺市、住吉大社の薩摩藩祖の伝「誕生石」史跡を訪ね、郷里の花尾神社(郡山町)の「丹後局」史

跡とのつながりを想いました。関西鹿児島県人会総連合会が毎年開催している関西がこしまファンデーへの場内誘導係として役員一同協力しています。しかし平成31年を最後にコロナ禍により中止の状態で開催が待たれます。末筆ながら鹿工同窓会のご発展と会員の皆様方のご健勝を衷心より祈念し関西支部だよりとします。

関西支部副支部長
谷口 義博
(S43工芸科卒)

中部支部だより



3月28日、同郷の妻とモーニングに出かけようとした朝、幹事長から突然の電話「今日は暇け？」返事は「サンデー毎日よお！」「おお、全日空ですか、じゃあソフトボールの応援を頼んど！」「わかったあ」と連絡。早速、選抜全国高校ソフトボール大会へ出場する岐阜県各務原市の総合運動場へ駆けつけた。準決勝戦では、岐阜県在住の木佐貫さん、米玉利さん、支部旗も揃って応援。「言い出しつても、早よ来こんか

あ」と呼び出した幹事長も駆けつけ4人揃って決勝戦を応援。ピッチャーの投球が「わっぜえすごか、よう打てるなあ」と感心するばかり。試合

は惜しくも負けたが2年連続の準優勝。優勝は連覇を遂げた長崎県立大村工業高校。九州勢が4強を占める中で我が鹿工も強い！閉会式に並ぶ後輩の活躍を誇りに思いま

す。グラウンドの外には、鹿児島島ナンバーの送迎バスやマイカー応援のご父兄が多数。皆、惜敗の悔しさと満足の笑みが見えた。

会社員生活で一番楽しかったのは、7年前の霧島市への単身赴任。約2年間の赴任ながら日当山温泉の「西郷どん湯」へほぼ毎日通った。おかげでその間は風邪を引くことも無く健康に過ごせた。名古屋から幹事長や支部のメンバーを呼び、地元



の級友と一緒にゴルフも楽しんだ。驚いたのは国分市が無くなったことで、花は霧島、タバコも市の名も霧島に変わったのだ。

母校の大運動会も2年連続で観戦できた。特に感動したのは競技終了後、自然発生したのか生徒たちが鳴門の渦巻みたいに回りました。皆の一体感を感じ目頭が熱くなった。電気科応援団長の声掛けで発生したらしい。さすが、わが後輩と褒めたい。大運動会が終了し、伊敷グラウンドからの戻り道、「進路は決まっ

たかな」と声をかけたら、「はい、中部の電力会社です」なんと、「おじさん」も中部支部じゃっど」と話が弾む。翌年、支部総会に新卒として参加してくれた。2年自粛し、今年開催予定の支部総会打合せにも出席してくれ

九州支部だより

3年ほど前に娘婿からボケ防止にと、ギターを

譲り受けた。練習を重ねFコードもやっとこさ出来るようになった。昨年の秋、地元の公園ライブに参加し、1曲奏でた。いつか、ピアノの得意な孫娘(小6)とコラボを夢見てがんばろう。

私も新型コロナウイルスで陽性反応が出てしまい隔離生活を経験したが、3回接

種を終えて軽症で済んだ。楽しみだった支部ゴルフコンペは断念。娘や孫から「爺ちゃん行かないで」と老いては子に従うばかり。同窓会の皆様も油断せず、パンデミックを乗り切りましょう。

工芸・インテリア会だより

愛知幹事 山崎義光 (S45電気科卒)

この度は鹿児島工業高校同窓会の開催を、心からお祝い申し上げます。工芸・インテリア会はその名の通り工芸科・インテリア科の卒業生が集まり、同窓会本部活動を支えつつ、親睦を深めあう目的で設立された和気あいあいとしたとても楽しい会です。



ての活動を強化していければと思っています。

今年度は、工芸・インテリア会主催のゴルフコンペや慰労会、忘年会などの行事も活動計画に入っていますので、もしこの同窓会新聞を見た工芸・インテリア科卒業の同窓生がいらっしゃいま

したら、どなたでも参加することが出来ますので、是非お声掛けしていただければありがたいです。最後に、母校と鹿工同窓会の益々の発展をお祈り申し上げます。

西倉宏
(平成元年インテリア科卒)

鹿児島工業土木・建設技術会だより

土木・建設技術会は、会員の交流・親睦を図るため、5月に総会・懇親会並びに夏と秋にゴルフコンペを開催してきたところです。

しかしながら、一昨年から世界的に流行している新型コロナウイルス感染症は高齢者や基礎疾患がある方は重篤な症状を引き起こしたことから、国をはじめ地方自治体から社会生活行動に指導や制限が示されました。

当会でも、国全体で取り組んでいる感染防止に積極的に協力するとの判断から、総会・懇親会は2年続けて中止しました。

新型コロナウイルス注目を接種した国民の割合が8割を超えたこと並び

に各業界の協力で、感染者数は激減していましたが、7月から前回を越える感染者数の拡大が進行しております。

現時点においては、国などからの制限は緩和されており、当会では令和4年度総会・懇親会を11月5日に鹿児島市内のホテルで開催する準備を進めています。

会員の皆様、久しぶりに歓談できる機会を設けて、母校から関係の先生をお招きします。多数の方々が参加されることを願っています。

横手純男
(S45年土木科卒)



土木・建設技術系会が懇親ゴルフコンペ開催



7月21日、鹿児島市の島津ゴルフ倶楽部で、土木・建設技術系会は懇親ゴルフコンペを開催しました。20名が交流を楽しもうと参加しました。霧がすごく濃くて打ち出したボールがどこに落ちたか確認することも難しい天気の中で、ネット72.8の大山勝男さん(S42 土木科卒)が優勝しました。ベストグロス賞は、79打で回った坂下秀巳さん(S45 土木科卒)が獲得しました。

秋空の下で第74回大運動会を開催

令和3年10月9日 鹿児島市の伊敷グラウンドで大運動会が開催されました。市内の学校ではコロナ感染拡大防止のため、分散登校や活動の制限を受けたことから、準備や練習に工夫しました。今年もやぐらの設置中止や観戦者の人数制限が行われる中、「熱き心に火をともし燃やせ鹿工魂」のテーマの下、熱い戦いが繰り広げられました。競技の部と応援の部は、2年ぶりに黄団(建築、建設技術、インテリア)が優勝しました。工業杯は白団(電気技術系)が2連覇し、女子の部は3年連続で3年生が勝ちました。紫団(電子機械系)と緑団(情報技術、工業化学)は、よく戦いましたが、来年の活躍が期待されます。



※重量物運搬競争



溢れる情熱と鹿工魂

弓道部(女子) 四国総体 初優勝

弓道の九州高校新人大会は令和 3 年 11 月 7 日長崎県立武道館で団体戦があり、鹿児島工業高校の女子チームは 2 位となり全国選抜大会へ進むことが出来ました。12 月 25 日 茨城県のアダストリアみとアリーナで第 40 回全国高校選抜大会の弓道団体戦があり、鹿児島工業高校は準々決勝で敗れて、5 位に入賞しました。



2022年度全国高校総合体育大会(四国総体)で、全国初優勝しました!

ソフトボール部 全国選抜大会準優勝

鹿児島工業高校ソフトボール部は令和3年10月24日鹿児島県新人大会の男子決勝戦で鹿屋農業高校を9-2で破り、第40回全国高校選抜大会の県代表となりました。全国選抜大会は各務原市総合運動公園ソフトボール場(岐阜県)で開催され、鹿児島工業高校は3月29日、準決勝で九産大付属九州高校(福岡県)を4-1で退けましたが、決勝では大村工業高校(長崎県)に0-7で敗れて、2年連続の準優勝でした。試合会場に近い鹿工同窓会中部支部から八重倉幹事長など有志の方々が応援に駆けつけ、お祝い金を贈りました。



2022年度全国高校総合体育大会(四国総体)で、3位入賞しました!

全日本競歩輪島大会で下地君(鹿工3年生)が初優勝

全日本競歩大会が4月16日石川県輪島市であり、U20 男子 10 キロメートルレースで下地 将多郎さんが41分11秒で初優勝しました。また、8 月上旬にコロンビアで開催された U20 世界陸上大会 10 キロ競歩に日本代表として出場を果たしました。

吹奏楽部定期演奏会を宝山ホールで開演

鹿児島工業高校吹奏楽部は去る12月26日 鹿児島市内の宝山ホールで第47回定期演奏会を開催しました。演奏は全日本吹奏楽コンクールの課題曲「天国の島」などの吹奏楽オリジナルステージから始まり、吹奏楽部OB・OGも参加したジャズ&ロックステージと続き、アニメーションのテーマ曲や歌謡曲などのバラエティーステージで終わりました。観客からは情熱あふれる演奏と「マリオブラザーズ」などの寸劇で楽しませてくれたことに対して、盛大な拍手がありました。終演前に長友 愛部長はじめ16人の3年生に送別の、また米丸紀文顧問に演奏指導の感謝の花束贈呈がありました。アンコール曲は恒例のディープパープルの曲でした。





小森 寿星 (こもり・じゅせい)

本名は小森寿生 昭和 40 年電気科卒業南さつま市出身
九州電力(株)退職後、鹿児島県の歴史風土、文化への思いから
薩摩狂句に出会い、現在はNHK鹿児島「ひるまえクルーズ
かごしま」の薩摩狂句の選者で活躍中です。

薩摩狂句の作品投稿を希望の方は

- ①名 前 ②年・科卒 ③連絡先
④ペンネームをお書き添えの上

ホームページ・郵送・FAX でご連絡ください

ホームページ》<http://rokkoob.jp>

・横^{よん}ごいな五時から先の
触^ふれは来^きじ

・飲^のんだ罰^{ばつ}つが^がんね^ね駄^だで
目^めが覚^さめ^めつ

・森^{もり}伊^い蔵^{ぞう}を^を戻^へれ^れ零^こせ^せつ
返^も杯^{はい}で^でた^た下^か戸^こ

薩摩狂句

小森 寿星

ふるさと母校応援プロジェクト

「母校の頑張っている取組を応援したい」、「母校の教育環境整備に役立ててほしい」という皆様が学校を指定し寄付していただくこの制度に対して、令和元年度から3年度の間、211万円の寄付金が寄せられました。本年度は、その寄付金による環境整備の第一弾として、ゴルフ練習場用ネットを購入しました。同窓会館の隣接地に設置し、ゴルフ部(部員9人)で活用していきます。第二弾以降は、今後行われるグラウンドの整備の状況に合わせて、必要となる部活動の道具などの購入費用に当てさせていただきたいと考えています。引き続き、母校への応援をお願いいたします。(学校事務長)



詳しくは
ホームページを
ご覧ください▶

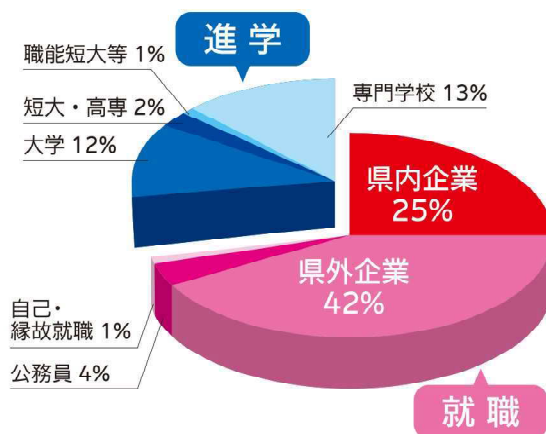


令和2年度就職・進路の状況

20年
連続

就職内定率
100%達成!

就職	県内就職		89人(16)	25%
	県外就職		148人(20)	42%
	公務員		15人(2)	4%
	自己・縁故就職		4人(2)	1%
進学	大学	国公立	6人(1)	2%
		私立	36人(5)	10%
	短大・高専		6人(5)	2%
	職能短大等		2人(5)	1%
	専門学校		47人(10)	13%



同窓会運営協力金のお願い

「ろっこう」は同窓会活動や母校の近況を案内する冊子で、会員相互の絆を深める情報手段でもあり、継続することが重要と考えています。今年も、第12号をお届けすることが出来ました。「ろっこう」の発行につきましては、多くの会員並びに恩師の方々から頂いた協力金で賄う仕組みとなっています。令和3年度も多額の協力金(1,253件、277万円余り)をいただき、役員一同深く感謝しています。今後とも、会員皆様の一層のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

同窓会運営協力金の振込用紙を同封しておりますので、一口2,000円(コンビニでは1口、郵便局では何口も可)の寄付をお願い申し上げます。

御社の広告を同窓会ホームページに掲載出来ます

同窓会ホームページでは卒業生が経営する企業からのバナー広告を募集しています。また、卒業生が勤務する企業からもバナー広告を募っています。すでに8社が広告掲載していますが、この機会に社名を広く卒業生へ広告案内してみませんか。4月から翌年3月までの掲載費用は6,000円(消費税込み)ですが、年度途中からの掲載費用は月額500円に月数をかけた額となります。

<http://rokkoo.jp>



携帯用



スマートフォン用



編集後書

会報誌「ろっこう(12号)」の表紙写真は校舎の三枚の景色です。会員皆様に現在の校舎の姿を見ていただくことにしました。上から右回りに、1号棟と2号棟、Ⅰ類実習棟とⅡ類実習棟、体育館です。特徴は直線が強調された建物で、技術系高校のイメージに合っていると思います。(横手 純男)

〈発行所〉 県立鹿児島工業高校同窓会

〈発行人〉 会長 永里和吉

〈事務局〉 鹿児島市草牟田二丁目57番1号(鹿工会館) TEL 099-239-1654 FAX 099-239-1862

〈仕分け・発送〉 ㈱サルト・印刷: 山之内印刷 代表者 中島 淳 (H2土木科卒)

みんなの文字®

この制作物は、みんなの文字を使用しています。みんなの文字は、一般社団法人UCDAが「読みやすさ」を認証した書体です。